

## 土木職 インタビュー



高橋 大樹

下水道整備課 第二建設係  
愛媛県出身



**自身が担当している業務について教えてください。**

下水道整備課に所属しており、下水道工事の設計から、工事現場の現場立会等の監督業務を行っております。



**職場の雰囲気はどうか？**

先ほどのお話にも出てきましたが、上下水道局は、組織全体で問題解決に取り組むことができる職場です。そのおかげで、ある程度問題を恐れず、積極的に仕事に取り組むことができる雰囲気だと思います。

**民間を経験されてからの入庁ですが、民間との違い、また、実際入って感じた上下水道局の仕事の魅力は？**

民間では主に「工事をする側」の立場でしたが、公務員は主に「工事をしてもらう側」の立場となります。それぞれ当然魅力的な仕事ではありますが、我々「工事をしてもらう側」は、より市民生活に寄り添った判断が必要とされ、また、知識・責任も求められます。その点が上下水道局職員の難しい点ではありますが、市民のライフラインの整備という課題を達成した時の達成感は、魅力的なものだと思います。

**これまでの局の仕事で、印象に残っている出来事は？**

下水道工事中、技術的なトラブルによって工事の進行が困難になったことがありました。その際、施工業者や職場の先輩方と議論を重ね、なんとかトラブルを乗り越え、工事を無事完了することができました。関係者全員で一つの問題に取り組み、大きな課題を解決できたことが最も印象に残っています。





**就活中の方にメッセージをお願いします！**

上下水道局の仕事は市民のライフラインを守る事です。それに魅力を感じる方は、是非上下水道局と一緒に働きましょう。